

事例4

BELS+緑化で環境配慮

ハイオス

地球と社員に優しいオフィスへ



建築家・宮本雅士氏
(宮本雅士建築設計／mmar)

境負荷を削減してきた。そんな同社は「社員が楽しめる環境づくり」という理念のもと、10年ごとに本社社屋の移転を行っている。そして設立50周年を迎えるにあたり、移転先に選んだのは東京スカイツリーを間近に望む墨田区・押上の築28年RC5階建ての物件だつた。

A black and white photograph showing four individuals standing in a large, open room with a high ceiling. The ceiling is filled with an intricate network of pipes, ducts, and lighting fixtures, giving it a complex, industrial appearance. In the background, there are several large, bright windows that allow natural light to illuminate the space. The floor appears to be made of polished concrete or a similar material. The people are dressed in casual attire; one person on the left is wearing a light-colored shirt and dark trousers, while the others are in darker clothing. They are positioned at different points in the room, some closer to the foreground and others further back near the windows.

改修前の1階部分

物件の改修において、白羽の矢が立てられたのは建築家の宮本雅士氏。宮本氏は16歳で一身渡英し建築を学び、英國を代表する建築事務所ホップキンスアーキテクツでは、世界各国において多数のプロジェクトに参画。24年にわたり英國を拠点とし、ドバイワールドトレードセンターや東京ミッドタウン日比谷など、著名な建築物を手がけた異色の建築家。現在は東京に拠点を構えている。

そんな宮本氏が環境先進国であるヨーロッパ

で培った経験は、ハイオースの改築プロジェクトにも如何なく發揮されている。

「B_E_L_S（建築物省エネエネルギー性能表示制度）は外皮性能と消費エネルギーの評価になりますが、欧米の基準では緑化やオフィスの動線、採光や吹き抜けといったオフィス環境も評価の対象になります。そこで、社内にリソーシュマネジメント部を設立して、各部門の資源利用状況を把握する仕組みを作りました。資源を効率的に使おうとする意識が高まっている」と、吉田氏は語る。一方で、吉田氏は、B_E_L_Sの評価基準を理解するため、建築物省の研修会に毎回出席している。そこで得た知識をもとに、社内でもB_E_L_Sの評価基準を理解するための研修会を開催。社員全員が理解するまで、何回かの回数で繰り返し開催している。吉田氏によると、社員の理解度合いによっては、複数回の回数で繰り返すこともあるという。吉田氏によると、B_E_L_Sの評価基準を理解するための研修会を開催。社員全員が理解するまで、何回かの回数で繰り返すことがある。吉田氏によると、B_E_L_Sの評価基準を理解するための研修会を開催。社員全員が理解するまで、何回かの回数で繰り返すことがある。

改修後の1
(写真提供

る。同社で働く社員からは、「廊下やオフィスから自然光が入り、緑が目に入ってくる。回りもビルが立っていて、コンクリートに閉まれているというよりは緑に囲まわって仕事をしている印象」と評判も上々だ。

「欧州ではBREEAM EDといっ

て、米国ではLE

A black and white photograph of a rooftop garden. Two people are standing near a large potted plant on the left. In the center, there is a small square table with four chairs and a closed umbrella. The garden is filled with various plants and trees, creating a lush, green space. The edge of the building is visible on the right, showing the urban environment surrounding the rooftop.

改修後の1階部分は明るく開放的な空間に生まれ変わった
(写真提供:Cody Ellingham氏)

ねじ締結ソリューションのパイオニア、ハイオスは1970年の創業以来、製品から働き手の就労基盤に至るまで、さまざまな環境配慮にこだわってきた。2019年の本社移転あたり、築28年の既築ビルを大規模リノベーション。地球にも社員にも優しいオフィスを創りあげた。

限界に近い数値である。
（つづき文参考）